

緊急報告

今、深刻な2つの事実

**物質の不安定を
安定に導く科学が急務**

1

測定困難

今、放射性物質を除去する浄水器が求められています。しかし、微細な放射能の分析が出来る機器は、実は限られています。



放射能に関しては高精度の分析機器でなければ検出が出来ません。それを承知で「放射性物質検出されず」と表記し、販促に導く浄水器が氾濫しています。

2

浄水は危険

皮膚にも、水道水の放射性物質を除去率の高い浄水器を通した場合が、最も危険です。なぜなら、水はきれいになっても放射性物質が浄水器の中に高濃度で濃縮されることになります。



この現実(測定困難 浄水危険)を前に、解決策は1つしかありません。

**放射線の影響による
物質の不安定を安定の方向に導く、という事です。**

この緊急の課題に対して、STSプロジェクトは地球環境・生命を脅かす深刻な事態と受け止め、非結晶生態系ランダム物理学に基づき、放射性物質を安定化の方向に導く携帯浄水器を被災地に提供致しました。同時に、次世代の生命に安全を届ける「水の革命シリーズ」(家庭用浄水器)の開発に着手、この度、完成致しました。

省みるに、産業革命以降の環境汚染は、ダイオキシンや環境ホルモンなど、まさに物質の不安定化であり、人類はこの事態に「毒を切って捨てる」という発想をし、そういう科学を推進してきました。しかし、今回の放射線問題は、ついに「切り取った放射線はどうするの」という問題に直面しており、一過性の対処療法では通用しない事態となっています。今こそ私たちは人類の叡智を結集して、不安定を安定させる「循環の科学」を推進していかなければなりません。STSプロジェクトは、確信をもって「循環の科学」(非結晶生態系ランダム物理学)の応用により環境蘇生し、人類の健康と安全に貢献したいと考えています。

水の革命シリーズ



特性

- **放射線の影響による物質の不安定を安定の方向に導く**
物質の不安定は、フリーラジカル(活性酸素)を発生させます。安定化には、ミネラル・電位差・酵素・磁性が必須。
- **活性炭・STS半導体セラミックス9種**
81種類のイオン化酵素と41種類の鉍物電位差を利用。
- **特殊天然石を使用し、水道水に含まれる不純物や有害物質の除去**
- **STSプラズマ触媒加工** ※製品仕様など詳細は裏面

79,800円(税込・希望小売価格) **71,820円**(税込・会員価格・3万P)

販売元 株式会社 エステーエスプロジェクト
〒019-2611 秋田県秋田市川辺戸島字七曲台 120-10
TEL: 018-874-9316 FAX: 018-874-9312
http://www.stspro.com

取扱い

小型ながら高性能の前処理フィルター (別売りオプション)

前処理フィルターを併用することで、本体の濾材消耗を軽減し使用期間を長くすることが可能ですので、前処理フィルターの取付をおすすめします。



C-26Φ

M-26Φ

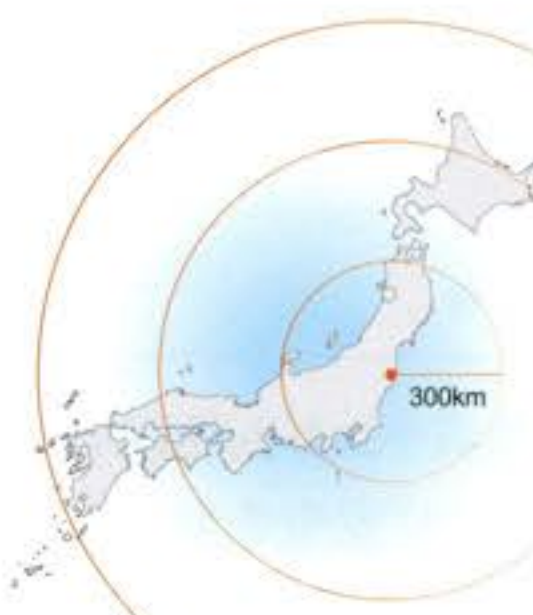
● → ネオジウム多極性磁気による磁力線

HB-01本体仕様

サイズ	直径 122 × 高さ 230 (mm)
重量	900g (通水前・浄水用ノズル含む)
使用水圧	水圧 0.05MPa~0.5MPa
吐水量	毎分 3リットル
浄活水能力 ※JIS3201試験結果 除去率80%	遊離残留塩素 : 70,000 l
	総トリハロメタン : 13,000 l
	CAT : 10,000 l
	2-MIB : 10,000 l
交換目安	2年 (※1日20~30lの使用の場合)

フィルター名	C-26Φ	M-26Φ
処理内容	鉛・重金属処理	赤錆・異物処理
浄活水能力	23,000 l (鉛除去)	10,000 l
(フィルターのみ) 価格	希望小売価格 2,280円 (税込) タイトル共通価格 2,052円 (税込・Pなし)	希望小売価格 1,680円 (税込) タイトル共通価格 1,512円 (税込・Pなし)
(フィルター+ケース) 価格	希望小売価格 11,400円 (税込) 会員価格 10,260円 (税込・3,000P)	希望小売価格 10,800円 (税込) 会員価格 9,720円 (税込・3,000P)

放射線と健康不安



最大で、1時間1万テラベクレルの放射性物質放出!
国際尺度、最悪のレベル7に格上げ
被害は全国に及んでいる。

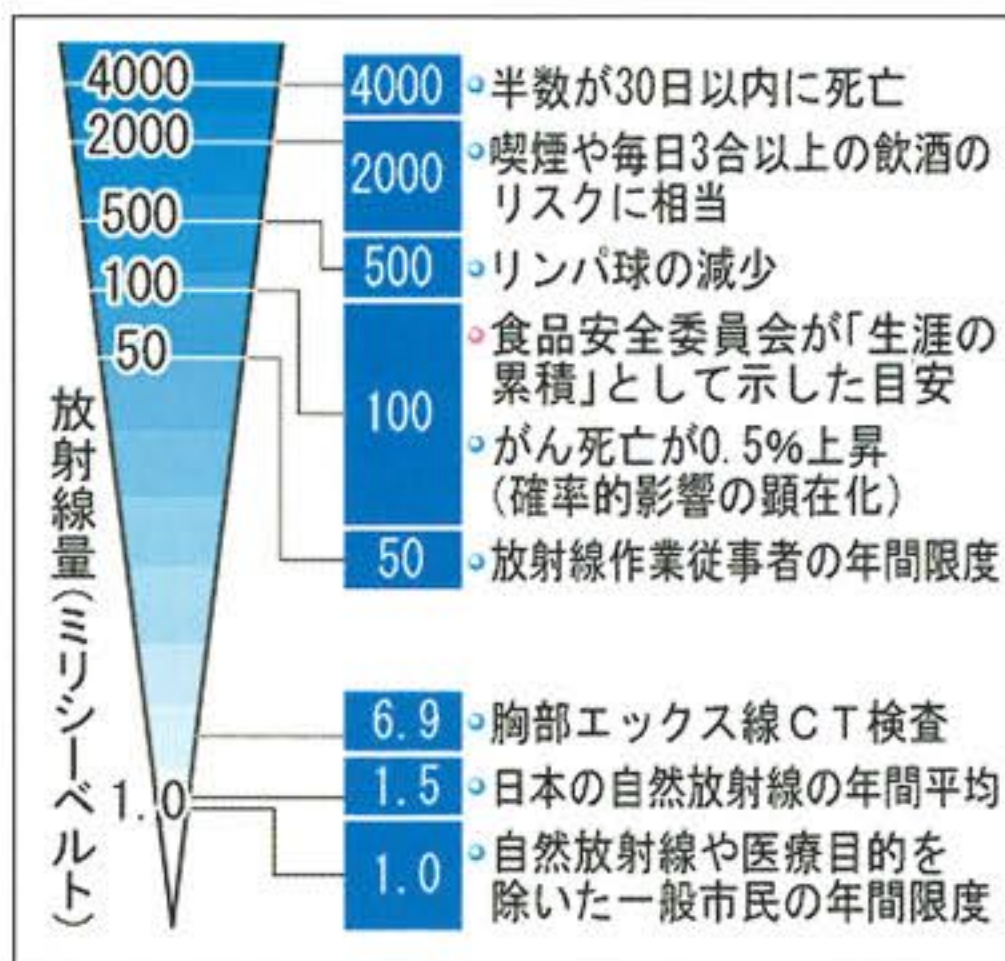
東日本大震災と東京電力福島第1原発事故から半年が過ぎました。

現在、外部へ放出された大量の放射性物質は環境を汚染し、野菜や牛肉など身近な食品から検出が相次いでいます。健康被害を防ぐため国が設定した食品の暫定基準値が見直され今後、作業も本格化する様相です。

家族で囲む食卓への影響は今も続き、妊婦も不安に直面したままです。

長期化する原発事故の影響、出口はまだ見えないのが現状です。

放射線の影響



(データは共同通信社より)

HB-01本体 水質検査結果

依頼日		平成23年 9月26日		探水日時	平成23年 9月26日 11:20	検査期間	9/26~10/6
〒010-1421 秋田市仁井田本町3-12-32		(株)エステーエスプロジェクト 様		探水者	西村 敦子	試料の種類	飲用井戸等
〒010-8728 秋田市八幡字下八橋191-42 厚生労働大臣登録水質検査機関 第154号		株式会社 秋田県分析化学センター		項目数	50	探水者区分	採取
代表取締役社長 川原 幸徳		電話 018-862-4930		検査責任者	鈴木 清晴		
ご依頼による水質検査の結果を次のとおりご報告いたします。							
検査項目	検査結果	基準値					
一般細菌	17 /mL	100/mL以下であること					
大腸菌	陰性	検出されないこと					
カドミウム及びその化合物	0.0003 ng/L 未検	0.003mg/L以下					
水銀及びその化合物	0.00005 ng/L 未検	0.0005mg/L以下					
セレン及びその化合物	0.001 ng/L 未検	0.01mg/L以下					
鉛及びその化合物	0.001 ng/L 未検	0.01mg/L以下					
ヒ素及びその化合物	0.001 ng/L 未検	0.01mg/L以下					
六価クロム化合物	0.005 ng/L 未検	0.05mg/L以下					
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.001 ng/L 未検	0.01mg/L以下					
硝酸亜硝酸及び亜硝酸態窒素	0.3 ng/L	10mg/L以下					
フッ素及びその化合物	0.08 ng/L 未検	0.8mg/L以下					
ホウ素及びその化合物	0.1 ng/L 未検	1.0mg/L以下					
四塩化炭素	0.002 ng/L 未検	0.002mg/L以下					
1,4-ジオキサン	0.005 ng/L 未検	0.05mg/L以下					
1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.004 ng/L 未検	0.04mg/L以下					
ジクロロメタン	0.002 ng/L 未検	0.02mg/L以下					
テトラクロロエチレン	0.001 ng/L 未検	0.01mg/L以下					
トリクロロエチレン	0.001 ng/L 未検	0.01mg/L以下					
ベンゼン	0.001 ng/L 未検	0.01mg/L以下					
塩素酸	0.06 ng/L 未検	0.6mg/L以下					
クロロ酢酸	0.002 ng/L 未検	0.02mg/L以下					
クロロホルム	0.001 ng/L 未検	0.06mg/L以下					
ジクロロ酢酸	0.004 ng/L 未検	0.04mg/L以下					
ジブロモクロロメタン	0.001 ng/L 未検	0.1mg/L以下					
臭素酸	0.001 ng/L 未検	0.01mg/L以下					
総トリハロメタン	0.001 ng/L 未検	0.1mg/L以下					
トリクロロ酢酸	0.02 ng/L 未検	0.2mg/L以下					
ブロモジクロロメタン	0.001 ng/L 未検	0.01mg/L以下					
ブロモホルム	0.001 ng/L 未検	0.09mg/L以下					
ホルムアルデヒド	0.006 ng/L 未検	0.08mg/L以下					
亜鉛及びその化合物	0.01 ng/L 未検	0.01mg/L以下					
アルミニウム及びその化合物	0.02 ng/L 未検	0.2mg/L以下					
鉄及びその化合物	0.03 ng/L 未検	0.3mg/L以下					
銅及びその化合物	0.01 ng/L 未検	0.01mg/L以下					
ナトリウム及びその化合物	11 ng/L	1199mg/L以下					
マンガン及びその化合物	0.095 ng/L 未検	0.095mg/L以下					
塩化物イオン	13.4 ng/L	200mg/L以下					
硬度 (カルシウム、マグネシウム等)	20.8 ng/L	300mg/L以下					
蒸気残留物	56 ng/L	500mg/L以下					
陰イオン界面活性剤	0.02 ng/L 未検	0.2mg/L以下					
ジエチルジチオホスホリン酸	0.00001 ng/L 未検	0.0001mg/L以下					
2-メチルイソボルネオール	0.00001 ng/L 未検	0.0001mg/L以下					
非イオン界面活性剤	0.005 ng/L 未検	0.02mg/L以下					
フェノール類	0.0005 ng/L 未検	0.005mg/L以下					
有機物 (全有機炭素(TOC)の量)	0.3 ng/L 未検	3mg/L以下					
pH値	7.8	5.8以上8.6以下					
味	異常なし	異常でないこと					
臭気	異常なし	異常でないこと					
色度	0.5 度 未検	5度以下					
濁度	0.2 度 未検	2度以下					
判定	上記検査項目については、水道法水質基準に適合する						
残留塩素	0.1 ng/L 未検						

検査方法は平成15年7月22日厚生労働省告示第241号別表による

015583